

SATA&M.2 CLONE

**SATA HDD&NVMe (PCIe) M.2 SSD
クローンアダプタ**

SATA HDD&NVMe (PCIe) M.2



10Gbps (USB3.2 Gen2)

ユーザーマニュアル



UD-M2SACL

はじめにお読みください。

■安全上のご注意・はじめに必ずお読みください

ご使用ならびに他者への危害、財産の損害などにつながる恐れがありますので、必ずお守りいただきたい順に、危険、警告、注意の順番に記載しています。

▲危険（死亡や重篤な障害を負う恐れが大きいです。）

- ・煙が出たり、異臭や異音がしたら、コンセントからプラグを抜いてください。
また、その他の製品の異常がありましたら、ご使用をやめ、速やかにサポートまでご連絡ください。
- ・電源コード、接続コードの上に物をのせたり、傷つけたり、折り曲げ、押し付け、加工などは火災・感電の原因になりますので行わないでください。
- ・本製品および付属品の分解や改造を行わないでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・火や暖房器具、発熱する機器の近くで使用しないでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・水などの液体に濡らさないでください。発熱・発火・感電・やけどの原因になります。
- ・人体に触れたまま使用しないでください。発熱によるやけどや感電の原因になります。
- ・ご使用後は必ず電源を切り、電源ケーブルを取り外して保管してください。予期せぬ停電やケーブルの抜け落ち等で機器の破損の原因になります。

▲警告（死亡や重篤な障害を負う恐れがあります。）

- ・端子部分の埃や汚れを掃除してください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・各ケーブルの接続部はしっかりと挿しこんでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・付属品以外のケーブルや電源アダプタを使用しないでください。発熱・発火・感電・破損・データの損失などの原因になります。
- ・お子様の近くで使用しないでください。発熱によるやけどや予期せぬ感電の原因になります。
- ・乳幼児の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・ご使用後は必ず電源を切り、電源ケーブルを取り外して保管してください。予期せぬ停電やケーブルの抜け落ち等で機器の破損の原因になります。

▲注意（軽傷を負ったり、機器の損害の恐れがあります。）

- ・本製品と接続した機器は水平で安定した所に設置してください。予期せぬ滑落やケーブルの脱落などの原因になります。
- ・40度以上の高温や極端に湿度の高い場所で使用しないでください。本製品の故障や接続した機器のデータ破損などにつながる恐れがあります。
- ・パソコン接続中は本製品や接続機器に触れないでください。低温やけど・データ破損・機器の破損につながる恐れがあります。
- ・ご使用後すぐには本製品や接続した機器に触れないでください。低温やけどや・データ破損・機器の破損につながる恐れがあります。
- ・ケーブルや機器の着脱は必ず本製品の電源を切ってから行ってください。本製品や機器の故障・データの破損などにつながる恐れがあります。
- ・本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えたり、ピンなどの異物を差し込んだりしないでください。
- ・本製品は精密機器ですので、体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤作動や故障、データ損失の原因になります。
- ・本製品を、直射日光に当たる場所、高温、多湿となる場所、ホコリや湯煙などの多い場所、強い磁場、電波、静電気の発生する場所での使用、保管をしないでください。
- ・お手入れの際には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものや、液体は使用しないでください。
- ・本製品の電源をONにした状態で、SSDおよびHDDの着脱を行うことはできません。SSDおよびHDDを着脱する場合は、必ず本製品の電源をOFFにしてから行ってください。

その他の注意事項

- Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。macOS、MacOSXは米国Apple inc社の登録商標です。
- PLAYSTATION (R) 5、PLAYSTATION (R) 4、PS (R) 5、PS (R) 4、PS (R) 4 Proは(株)ソニー・インタラクティブエンタテインメント社及び(株)ソニー社の商標登録です。
- 本製品は、上記各社のライセンス商品ではありません。その他記載されている名称（機能名、規格名、商品名など）は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品は全てのSSD/HDDの動作を保証するものではありません。
- 本製品にはSSD/HDDは含まれておりません。
- 本製品の保証はマニュアルをお読みいただいた後、日本国内でのご使用のみ対応です。
- 本製品ご使用前に、重要なデータのバックアップをお取頂く事をお勧め致します。
- 本製品ご使用中に、万が一接続した機器を破損させた場合、機器に記録されていたデータの復旧や再生、データ損失に起因するあらゆる損害は保証対象外です。（データ保障の免責）
- 本製品は本書記載の動作環境に準じた、全ての接続機器の動作を完全に保証する物では有りません。
- 付属の説明書を必ずお読み頂いてからご使用下さい。特殊なご使用方法などのご質問にはお答えできません。
- その他記載されている名称（機能名、規格名、商品名、会社名）は各社の商標または登録商標です。
- 製品改良の為、外観、仕様、記載内容の変更を予告無く行う場合があります。
- 弊社製品は一般コンシューマ向けに開発、製造しております。一般コンシューマ以外のビジネス、工場、インダストリアル等でのご使用は、製品保証対象外になります。
- 弊社の保証規約は本体と付属品までを範囲と致します。
- 長時間使用されない場合、電源を取り外した状態で保管してください。
- ダウンタイムの保証につきましても、お受けすることはできません。

目次

はじめにお読みください。	2～3ページ
目次	4ページ
製品構成	5ページ
対応 OS	5ページ
対応 M.2 SSD	5ページ
対応 SATA SSD/HDD	5ページ
各部名称	6ページ
SSD/HDDの装着方法	7ページ
クローン SSD/HDD作成方法	8～9ページ
パソコンと接続	10ページ
接続の確認	10ページ
パソコンからの取り外し	10ページ
SSD/HDDの初期化方法(Windows)	11～15ページ
SSD/HDDの初期化方法(macOS)	16～17ページ
ボリュームの拡張について	18ページ
UASPモードについて	19ページ
ディスク署名の競合について	19ページ
よくあるご質問 Q&A	19～20ページ
製品仕様	20ページ
製品保証書	21ページ

製品構成

ご使用前に必ずご確認ください。

- 本体
- 電源アダプタ
- USB10Gbps A to C ケーブル
- USB A (メス)→C (オス) 端子変換アダプタ
- M.2 SSD 固定用ゴム

対応 OS

- Windows 11/10 / 8.1 / 7 (各 64/32bit 版)
- macOS X /MacOSX (10.2.6 以降)
- USB 接続 HDD 録画に対応した TV
 - ※TVの使用によっては動作しない機種もございますが、保証対象外です。
(パナソニック製 TV は動作検証外)
- PS (R) 5
 - ※PS (R) 5 では「拡張ストレージ」としてフォーマットした 1 台の SSD/HDD を使用可能です。
- PS (R) 4 など
 - ※PS (R) 4/4Pro では「拡張ストレージ」としてフォーマットした 1 台の SSD/HDD を使用可能です。

対応 M.2 SSD

対応 SSD : NVMe M.2 SSD

対応 M.2 端子 : M key/B+M Key

※M.2 SSD の端子形状が B+M Key の場合は、端子の切り掛けが 2 箇所あります。

B Key と M Key では、端子の端が B Key の方が太く、M Key の方が細くなっております。

本製品の端子の切り掛けは M Key 用になっておりますので、接続する際は端子の端が細い方が切り掛けの位置に来るように接続してください。

※本製品の端子の切り掛けは M Key 用になっており、B Key 側を無理やり接続すると M.2 SSD や本体が破損する可能性がありますのでご注意ください。

対応 SATA SSD/HDD

対応 SSD/HDD : SATA 接続の 3.5/2.5 インチ SSD/HDD

各部名称

①M.2 スロット

NVMe M.2 SSD を接続してください。

②SATA スロット

SATA HDD を接続してください。

③電源コネクタ

付属の電源アダプタを接続してください。

④10Gbps (USB3.2 Gen2) ポート

付属の USB ケーブルを接続し、パソコンに接続してください。

⑤電源スイッチ

電源の ON/OFF が行えます。

⑥クローンボタン

クローン作成時に長押し（5秒以上）し、クローンインジケータ全点滅中にもう一度押しと 25% のクローンインジケータが点滅し、クローンが開始します。

⑦クローン切替スイッチ

クローン元とクローン先を入れ替えます。

⑧電源 LED

電源通電時に青色に点灯します。

⑨SATA アクセス LED

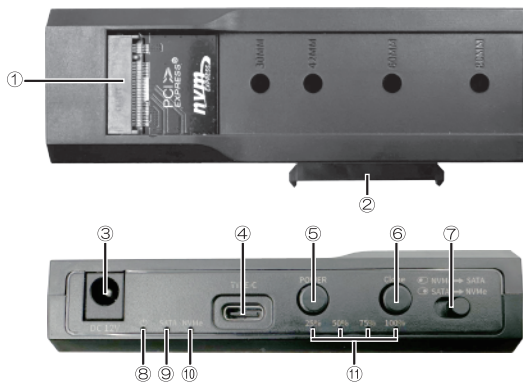
アクセス時に青色に点滅します。

⑩NVMe アクセス LED

アクセス時に青色に点滅します。

⑪クローンインジケータ

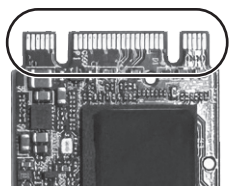
クローン作成時にクローン進行度に合わせて点滅（作業中）、点灯（終了）します。



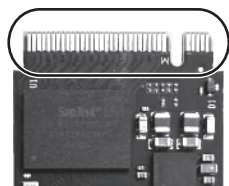
SSD/HDD の装着方法

●SSD の装着

※ご使用になろうとしている M.2 SSD が NVMe タイプであり、M Key または B+M Key であることを、必ずご確認ください。



B+M Key



M Key

M.2 SSD と M.2 コネクタの切り掛けの位置を確認し、M.2 SSD を矢印の方向に、筐体に対し約 30° 程度の角度を付けながら接続してください。

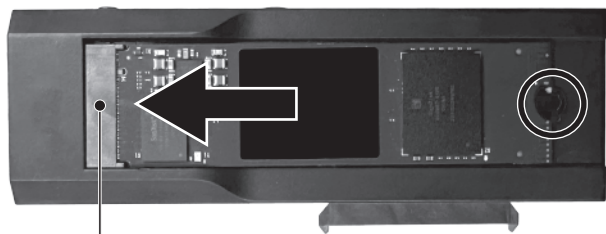
付属の M.2 SSD 固定用ゴムを M.2 SSD の切り込み部分に取付、M.2 SSD の切り込み部と筐体の穴を合わせ、M.2 SSD 固定用ゴムを筐体の穴に押し込んで、筐体に取り付けてください。

※M.2 SSD の端子形状が B+M Key の場合は、端子の切り掛けが 2 箇所あります。

B Key と M Key では、端子の端が B Key の方が太く、M Key の方が細くなっております。

本製品の端子の切り掛けは M Key 用になっておりますので、接続する際は端子の端が細い方が切り掛け側に来るように接続してください。

※本製品の端子の切り掛けは M Key 用になっており、B Key 側を無理やり接続すると M.2 SSD や本体が破損する可能性がありますのでご注意ください。

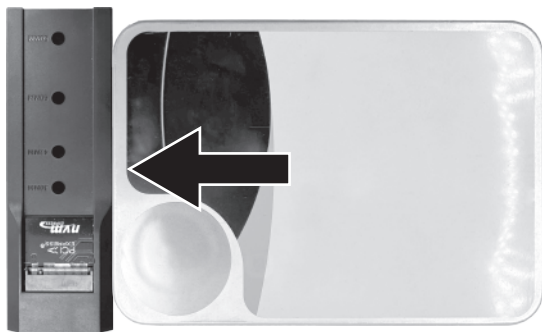


M.2 コネクタ

●HDD の装着

※ご使用になろうとしているHDDが2.5インチまたは3.5インチのSATA接続のHDDであることを確認してください。

本体とHDDのSATA端子を確認し、矢印の方向にHDDをスライドさせ、本体にHDDを取り付けてください。



クローン SSD/HDD 作製方法

クローンは Windows 上のコピーとは異なり、OS 等のシステム領域や、パーティション、未割り当て領域も含め、全ての領域をクローン（複製）できます。

※クローン先とクローン元の SSD/HDD を間違えると、大切なデータが上書きされてしまいますのでご注意ください。

※クローン元の SSD/HDD の容量に対して、クローン先の SSD/HDD の容量は同等または、それより大きい必要があります。

※同容量の SSD/HDD を使用してクローンする場合は、同メーカー同型番の SSD/HDD の使用を推奨します。
(各メーカーにより、容量のは端数値が違う場合があるため。)

※クローン元にクローン先のスロットより容量の大きな SSD/HDD を取り付けただ場合、「クローンモード」が開始されません。

※リカバリー領域等の特殊領域は、クローンできても正常に動作しない可能性があります。

※SSD/HDD にエラーがある場合はクローンできません。

①NVMe SSD の接続

本製品に NVMe SSD を接続してください。

②SATA HDD の接続

本製品に SATA HDD を接続してください。

③クローン切替スイッチ

クローン元とクローン先を設定します。

NVMe SSD から SATA HDD にクローンする場合は、「NVMe→SATA」に設定してください。

SATA HDD から NVMe SSD にクローンする場合は、「SATA→NVMe」に設定してください。

④電源の接続と電源ボタンの ON

付属の電源アダプタを接続し、本体の電源ボタンを押し、本体の電源を ON にしてください。

本体の電源が ON になると電源 LED が点灯し、アクセスランプが点灯します。

③クローンのスタート

クローンボタンを長押し（5秒以上）するとクローンインジケータが全点滅します。全点滅中にもうクローンボタンを一度押す（単押し）と 25% のクローンインジケータが点滅し、クローンが開始します。

④クローンの完了

クローンインジケータの 25%、50%、75%、100% の LED が点灯したら、クローンが完了します。

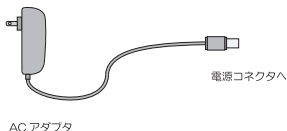
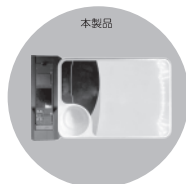
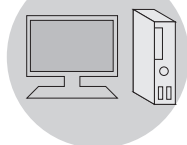
本体の電源ボタンを OFF にしてください。

※クローン先とクローン元の記録媒体を同じパソコンに接続すると、「ディスク署名の競合」が発生します。2枚同時に認識させるにはディスクの管理から「オフライン」状態の SSD/HDD を「オンライン」状態にする必要があります。

パソコンと接続

SSD/HDD を接続した本製品をパソコンに接続します。

USB インターフェースを搭載したパソコン



接続手順

- ①本製品に SSD/HDD を接続します。
- ②付属の電源アダプタをコンセントに接続し、本製品に接続します。
- ③付属の USB ケーブルを本製品とパソコンに接続します。
- ④本製品の電源を ON にします。

※新しい SSD/HDD を本製品に接続した場合、フォーマットが必要です。

本書のフォーマット方法をご参照ください。

※使用中および使用後は、SSD/HDD が発熱している場合があります。SSD/HDD を取り外す場合は、電源を切ってしばらく経ってから、SSD/HDD をスタンドから取り外してください。

接続の確認

- Windows
「デバイスとドライブ」でドライブ表示が追加された事を確認してください。
- macOS
デスクトップ上にストレージのアイコンが追加された事を確認してください。

パソコンからの取り外し

- Windows
タスクバー上の USB アイコンをクリックし、「ハードウェアの安全な取外し」を選択し、本製品を取り外してください。
- macOS
デスクトップ上の本製品のアイコンを「ゴミ箱」の方にドラッグすると「ゴミ箱」が「イジェクト」アイコンに変化致しますので、そのままドロップしてください。

※本製品の電源を ON にした状態で、SSD/HDD の着脱を行うことはできません。
SSD/HDD を着脱する場合は、必ず本製品の電源を OFF にしてから行ってください。

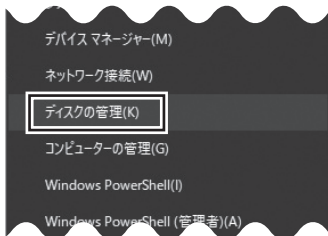
SSD/HDDの初期化方法（Windows）

※この説明では SSD/HDD にパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。
パーティションを分割する場合は Windows の説明書や参考書籍などをご使用ください。

●フォーマット方法（Windows 11/10/8.1）

※フォーマットを行うと SSD/HDD 内のデータは全て削除されます。

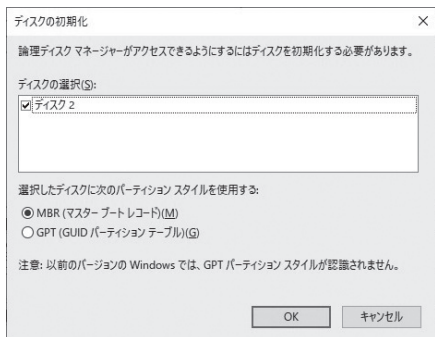
①デスクトップにある「Windows」マーク上で「右クリック」し「ディスクの管理」を選択してください。



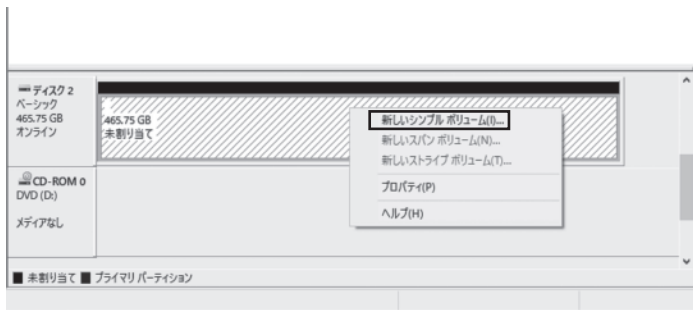
②初期化が行われていない SSD/HDD をパソコンに接続していた場合、「ディスクの管理」を選択した際に、「ディスクの初期化」が表示されます。

2TB 未満の SSD/HDD を接続している場合は「MBR（マスターブートレコード）」を選択してください。

2TB 以上の SSD/HDD を接続している場合は「GPT（GUIDパーティションテーブル）」を選択してください。
設定後に「OK」を選択してください。



- ③「ディスク」から「未割り当て」と表示された領域で「右クリック」し、メニューから「新しいシンプルボリューム」を選択してください。



- ④「新しいシンプルボリュームウィザード」が表示されますので、「次へ」を選択してください。



⑤「ボリュームサイズの指定」が表示されます。全ての領域をフォーマットする場合は「次へ」を選択してください。

パーティションを分割する場合は「最小ディスク領域」から「最大ディスク領域」までの任意のサイズを「シンプルボリュームサイズ」に指定してから「次へ」を選択してください。

The screenshot shows a dialog box titled '新しいシンプルボリュームウィザード' (New Simple Volume Wizard) with a close button (X) in the top right corner. The main heading is 'ボリュームサイズの指定' (Specify Volume Size) with a sub-instruction: '最小サイズと最大サイズの間でボリュームのサイズを選択してください。' (Select the volume size between the minimum and maximum sizes). The dialog contains three rows of information: '最大ディスク領域 (MB):' (Maximum disk space (MB)) with the value '476923'; '最小ディスク領域 (MB):' (Minimum disk space (MB)) with the value '8'; and 'シンプルボリュームサイズ (MB)(S):' (Simple volume size (MB)(S)) with a text input field containing '176920' and a spinner control. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

⑥「ドライブ文字またはバスの割り当て」が表示されます。指定が無ければ空いている割り当て番号の一番若い番号が表示されておりますので、そのまま「次へ」を選択してください。

※「次の空の NTFS フォルダにマウントする」と「ドライブ文字またはドライブバスを割り当てない」は通常使用しませんので選択しないでください。こちらの機能を使用する場合は別途 Windows のヘルプや参考書をご参照ください。

The screenshot shows the same dialog box as above, but at the 'ドライブ文字またはバスの割り当て' (Assign Drive Letter or Path) step. The instruction reads: 'ドライブ文字またはバスを割り当てて、アクセスを簡単にするために、ドライブ文字またはドライブバスをパーティションに割り当てることができます。' (You can assign a drive letter or bus to the partition to make access easier). There are three radio button options: 1) '次のドライブ文字を割り当てて改訂(D)' (Assign the next available drive letter) which is selected, with a dropdown menu showing 'F'; 2) '次の空の NTFS フォルダにマウントする(M)' (Mount to the next empty NTFS folder) with a text input field and a '参照(R)...' (Browse) button; 3) 'ドライブ文字またはドライブバスを割り当てない(N)' (Do not assign a drive letter or bus). The bottom buttons are the same as in the previous screenshot: '< 戻る(B)', '次へ(N) >', and 'キャンセル'.

- ⑦「パーティションのフォーマット」が表示されます。特別な設定を行う以外はそのまま「次へ」を選択してください。

※「パーティションのフォーマット」にて設定を変更する場合は下記をご参照ください。

ファイルシステム	NTFS、FAT32、exFATが選択できます。 FAT32では32GB以上の領域をフォーマットできませんので、32GB以上の領域をフォーマットする場合はNTFSでフォーマットを行ってください。 exFATでフォーマットする場合はWindows Vista以前のWindows OSでは正常に認識できなくなる可能性があります。
アロケーション ユニットサイズ	パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で設定してください。
ボリュームラベル	マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
クイックフォーマット	チェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域を確認しませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。 クイックフォーマットを行わない場合、ディスクの容量によっては数時間～数十時間かかる場合があります。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
ファイルとフォルダの 圧縮を有効にする	このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。 通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。 一部のアプリケーションでは、この設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

⑧「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」が表示されます。

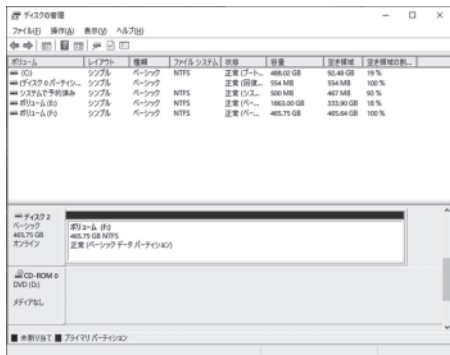
テキストボックス内の設定を確認後に「完了」を選択すると、フォーマットが開始されます。



⑨フォーマットが開始すると、「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。

進行状況が 100% になり、ステータスが「正常」になればフォーマットが完了します。

※フォーマット中はコンピュータの電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windows を終了しないでください。



⑩フォーマットが完了すると「ディスクの管理」に容量が表示されます。

「デバイスとドライブ」にドライブが追加されている事を確認してください。

SSD/HDDの初期化方法（macOS）

※この説明では SSD/HDD にパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。

パーティションを分割する場合は macOS の説明書や参考書籍などをご使用ください。

※フォーマットを行うと SSD/HDD 内のデータは全て削除されます。

①デスクトップ上部にあるの移動タブの中から「ユーティリティ」を選択してください。



②ユーティリティの中から「ディスクユーティリティ」を選択してください。



③フォーマットを行う SSD/HDD を選択してください。

④「消去」を押してください。

⑤フォーマットを選択してください。

●APFS

macOS のみで SSD/HDD を使用する場合は選択してください。

macOS 10.13 以降でのみ使用できるフォーマットです。それ以前の macOS では使用できません。

●Mac OS 拡張 (ジャーナリング)

macOS のみで SSD/HDD を使用する場合は選択してください。

●MS-DOS (FAT)

macOS と Windows で SSD/HDD を使用する場合は選択してください。

1 ファイルで 4GB を超えるファイルは使用できません。

●exFAT

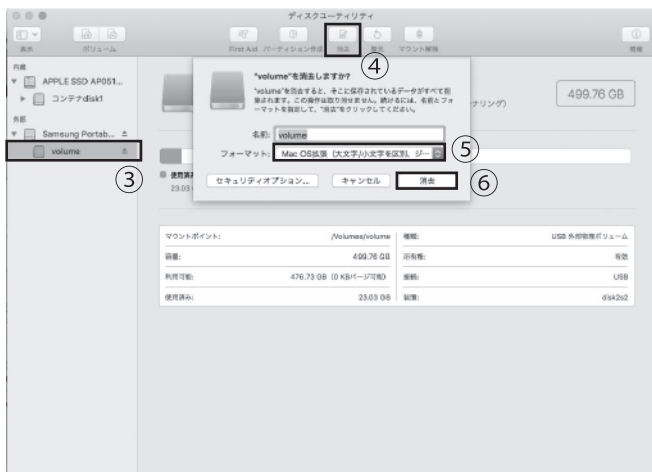
macOS と Windows で SSD/HDD を使用する場合は選択してください。

Windows Vista 以前の OS では認識できません。

※Windows OS と macOS 両方で使用する場合で、「方式」からパーティションマップを変更する場合は、「GUID パーティションマップ」か「マスター・ブート・レコード」を選択してください。

「Apple パーティションマップ」を選択すると、macOS 以外では認識できなくなります。

⑥「消去」を選択するとフォーマットが開始されます。



※操作手順は、macOS 10.13.6 の場合です。

ボリュームの拡張について

●ボリュームの拡張について

元のSSD/HDDより、容量の大きいSSD/HDDにクローンを行った場合、以前にパーティションを切って使用していた領域以外は、未割り当て領域となります。

未割り当て領域を使用して、既存のドライブ（Cドライブ等）の領域を拡張する事ができます。

※手順を間違えると大切なデータが消えてしまう可能性がありますので、十分に注意して操作を行ってください。

データの消失に関して弊社では一切保証することができませんのでご了承ください。

手順に不明な点がある場合は、Windowsの参考書等をご参照ください。

●ボリュームの拡張方法

本項目にては、Cドライブを拡張する方法を説明します。

①ディスクの管理の表示

Windows 11/10/8.1の場合：「スタートボタン」上で右クリックし、「ディスクの管理」を左クリックで起動してください。

Windows 7の場合：「コンピューター」上で右クリックし、「管理」を選択してください。

「コンピューターの管理」が表示されますので「ディスクの管理」を選択してください。

②「ディスクの管理」に表示されている拡張したいパーティション上で右クリックしてください。

③「ボリュームの拡張」を左クリックで選択してください。

※「ボリュームの拡張」を行うパーティションが「未割り当て領域」と隣り合わない場合は「ボリュームの拡張」は行えません。

例：「System」「C」「D」「未割り当て」とパーティションが並んでいる場合、「C」を拡張する事はできません。

その場合は「D」に入っているデータを他の場所に移動し（外付けHDD等）、「D」パーティションを削除し、「System」「C」「未割り当て」という順番にパーティションが並んだ状態にしてください。

（「D」パーティションにソフトのインストールデータ等が入っていて移動できない場合はWindowsの機能ではパーティションを拡張できませんので、別途パーティション管理ソフトを使用してください）

④「ボリュームの拡張ウィザード」が表示されますので、「次へ」のボタンを押してください。

⑤「ディスク領域（MB）」を選択した任意のサイズを入力し、「次へ」を押してください。

※「D」パーティションを削除し、後にもう一度「D」パーティションの作成を行いたい場合は、「D」パーティション分の容量を残してください。

⑥「ボリュームの拡張ウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンを選択してください。

⑦「コンピューター」の管理画面でパーティションが拡張されている事を確認してください。

※「D」パーティションを削除して「C」パーティションを拡張し、もう一度「D」パーティションを作成したい場合は、この操作の後に作成してください。

UASP モードについて

- 本製品を USB3.2 UASP モードで使用すると、通常の USB3.2 接続で使用する場合に比べて、より高速で使用することができます。

本製品を USB3.2 UASP モードで使用する場合、以下の条件を全て満たしている必要があります。

- USB コントローラー IC が UASP モードに対応している
- USB コントローラー IC のドライバが UASP モードに対応している
- OS が UASP モードに対応している (Windows 11/10 / 8.1)

ディスク署名の競合について

クローン元の SSD/HDD とクローンモードで複製した SSD/HDD をパソコンに接続した場合、同じデータが書き込まれた SSD/HDD が 2 台パソコンに認識されますが、ディスク署名が競合するため、1 台の SSD/HDD しか使用できません。

他の用途で 2 台同時に SSD/HDD を使用したい場合、Windows の場合は「ディスクの管理」から「オフライン」状態の SSD/HDD を「オンライン」に変更するか、管理者権限のコマンドプロンプトから「Microsoft diskpart」を起動し、ディスク署名を変更してください。

よくあるご質問 Q&A

Q. SSD/HDD が認識しません。

A.1. 本製品の電源を ON にした状態で、SSD/HDD の着脱を行うことはできません。

SSD/HDD を着脱する場合は、必ず本製品の電源を OFF にしてから行ってください。

A.2. ご使用になろうとしている M.2 SSD が NVMe タイプであり、M Key または B+M Key であることをご確認ください。

Q. mac でフォーマットした SSD/HDD を Windows で開けません。

A. フォーマット形式を FAT 形式 (MS-DOS ファイルシステム) または exFAT 形式にしてください。

Q. Linux や Unix でも使用可能ですか？

A. カーネルが対応していれば使用可能ですが、サポートはしていません。

Q. 高速転送できる条件を教えてください。

A. ご使用になるパソコンの USB ポートが 10Gbps (USB3.2 Gen2) に対応していることを確認してください。また、SATA SSD/HDD より NVMe M.2 SSD の方が高速でお使いいただけます。

Q. クローンモードが開始されません。

A. 本製品のクローン機能は「小さい容量の SSD/HDD から大きい容量の SSD/HDD」のみが可能で、必ずクローン先にはクローン元より大きい容量の SSD/HDD をご利用ください。

Q. クローン先の SSD/HDD を装着したパソコンでクローン元の SSD/HDD が認識できません。

A. ディスク署名の競合が発生しています。ディスク署名を変更してください。

Q. 500GBのSSD/HDDから1TBのSSD/HDDにクローンしたのに、Cドライブが500GBしか無い。

A. クローンを行ってもパーティションサイズは変更されません。
ボリュームの拡張をおこなってください。

製品仕様

対応ドライブ	<ul style="list-style-type: none">• NVMe(PCIe)接続M.2 SSD• SATA接続 SSD/HDD
対応ドライブ端子	• NVMe M-Key/ B+M-Key、SATA
USB接続 対応環境	USB10Gbps (USB3.2 Gen2) 対応、 USB5Gbps (USB3.2 Gen1、USB3.0)、 USB2.0接続にも対応します。
USB接続 対応OS	Windows 11/10/8.1/7 (各64/32bit版)、 macOS/MacOSX (10.2.6以降)、 USB接続HDD録画に対応したTV、PS (R) 5、PS (R) 4など
外部接続	USB10Gbps (USB3.2 Gen2※理論最大値) 対応 USB-A/USB-C※付属USBアダプタ経由
製品サイズ	製品寸本：幅3.6 × 縦10.9 × 高さ2.4cm(突起部含まず) USB10Gbps接続ケーブル長さ：約800mm
重量	約50g (本体のみ)
電源	付属電源アダプタ経由。入力AC100~240V/DC出力12V/3A
内容物	本体、電源アダプタ、USB10Gbps A to Cケーブル USB A (メス) → C (オス) 端子変換アダプタ、M.2 SSD固定用ゴム
保証期間	製品ご購入より一年間 (ご購入日、ご購入店が記載された領収書や納品書が必要です。)

製品保証書

型番 UD-M2SACL	
お名前	
ご住所	〒 TEL
ご販売店	
ご購入日	年 月 日

製品保証規定

- ①本書記載の注意事項やご使用方法で、正常に日本国内でご使用いただいております。ご購入日とご購入店が記載されたレシートや領収書、納品書の何れかと、上記の製品保証書を併せてご提示いただく事で、ご購入より1年間の間、当社規定の方法で無償修理を承ります。
- ②下記の場合、保証期間内でも有償修理となります。
 - (ア)本書をご提示いただけない場合。
 - (イ)ご購入日ご購入店舗を確認できるレシートや納品書が無い場合。
 - (ウ)中古、オークションなど正規お取扱店以外でのご購入。
 - (エ)ユーザー様のお取扱い上の不注意や過失による故障。
 - (オ)天変地異、落雷、公害、公衆衛生被害などが原因の場合。
 - (カ)改造や分解、その他本製品に起因しない事が確認できる場合。
 - (キ)民製用途医大、産業や工業用途等でのご使用が原因の場合。
- ③データに関する直接、間接共に全ての損害補償は免責です。
- ④万が一の製品故障時に発生する製品をご使用いただけない期間(ダウンタイム)に関する保証は免責となります。
- ⑤本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ⑥万が一の本製品故障時は、直ぐにご使用を停止してください。その上で、お手数ですが下記お問い合わせ窓口へ故障の連絡をお寄せください。宜しくお願い申し上げます。

サポート&お問い合わせ窓口 **support@tlmely.ne.jp**

TIMELY 販売元
COMPUTER PRODUCTS 株式会社タイムリー
http://www.groovy.ne.jp

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 2-45-2
ステラビル 5F
TEL 03 (5927) 9850
FAX 03 (5927) 9660